



## 令和3年第1回定例市会(2月議会)

第1回定例市会(2月議会)は、2月18日から3月末までの間、予算市会として、令和3年度の神戸市の施策について、市当局の原案をもとに本会議や予算特別委員会において審査しています。

かじ幸夫が所属する立憲民主党市会議員団では、**新型コロナウイルス感染症への対応**として、**感染拡大防止**や**医療提供体制の安定的確保**など強く要望し、また教育・福祉関連については、以前から要望していた35人学級の実現やこども・若者ケアラーへの支援、ひとり親家庭への支援などが予算案に反映されました。これらを含むすべての予算案に対して、提案・要望を重ねたうえで、承認される予定です。

### 令和3年度 神戸市当初予算規模

一般会計	8,704億円
特別会計	6,535億円
企業会計	3,292億円

### 令和3年度神戸市予算 主な新規事業・拡充事業 ～ 予算要望から新規・拡充の予算(案)へ ～

#### ●健康・福祉・安全

- ・こども医療費助成制度の拡充について … 6,109万円
- ・こども・若者ケアラーへの支援 … 1,500万円
- ・がん患者のアピアランスケア支援事業 … 1,296万円

#### ●子育て・教育

- ・ひとり親家庭への支援 … 3億4,445万円
- ・温かい中学校給食に推進 … 3,300万円
- ・学童保育利用者を対象とした学習支援 … 6,184万円

#### ●西区関連予算

- ・(仮称)西神南消防出張所の新設 … 4億2,416万円



(仮称)西神南消防出張所 完成予定図

この予算市会において、かじ幸夫は、**コロナ禍対策を最重要課題**と捉え、**医療従事者の人材確保や処遇改善**、そのうえで**安全・安心で豊かな市民生活に繋がる施策**を求めてきました。特に、本会議では会派を代表して代表質疑に臨み「Withコロナを見据えたこれからの神戸市のあり方」について質し、また各局審査については「健康局」、「福祉局」、「環境局」に対して質疑を行いました。

新年度にはいよいよ**コロナワクチン接種**が始まります。すべての市民が混乱なく冷静にワクチン接種に向き合うことができるよう、神戸市に対して適宜、正確な情報提供を行うよう求めています。



神戸市予算関連記事は抜粋したものです。  
詳しくは神戸市のホームページをご覧ください!



## 1. Withコロナを見据えた医療人材の確保について

**Q** 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、現場の第一線で対応いただく医療人材の確保、特に看護師の確保について急務です。即戦力として対応頂ける「潜在看護師」に対する人材確保策を強化してはいかがでしょうか。

**A** 県の看護協会と連携して、看護師の人材確保、離職防止、再就職支援のための総合的な施策を展開しております。市としても施策の充実を県に要望するとともに、市立看護大学において看護人材の育成を推進してきています。引き続き、優秀な看護人材の供給・促進、市内定着に力を入れていきたい。

**要望** 看護師をはじめ医療現場は「人」が直接関わらなければならない大切な職域です。医療人材を育てていくため市としての支援を要望しておきます。

## 2. Withコロナを見据えた公教育におけるICT教育のあり方について

**Q** 新年度当初には小・中学校全ての児童生徒にタブレット端末が貸与されることになりました。この端末の活用について、授業モデル等の目指すべき方向性はどのようなものか伺います。

**A** 動画や写真画像などのコンテンツを使って、視覚的な理解を促すことができ、そしてグループ学習においてより効果が発揮できると考えています。授業の形態が大きく変わること、児童・生徒の興味や関心、また意欲の向上を図り、課題への深い理解につながっていくものと考えています。

**要望** 端末への慣れの問題もあり、それぞれの理解度・習熟度に応じて、丁寧に進めていただきたい。教員と子どもたちが一緒に考えながら学びを深めていくことが大切であり、教育委員会として各校に対して的確な支援・助言に努めていただきたい。

## 3. Withコロナを見据えた神戸のまちづくりのあり方について

**Q** 地域コミュニティ交通の運行支援策として、市内4地域で本格運行支援、8地域で需要調査や試験運行による検証が行われます。まちづくりにおける都市交通の位置づけや地域公共交通のあり方について伺います。

**A** 基本は、鉄道網を基幹交通網とし、鉄道の駅と地域を結ぶバス路線をフィーダー網とする。そしてバス路線で採算が取れないところは地域コミュニティ交通で補完する。これが基本的な考え方です。

**要望** 公共交通事業はライフラインと同等に重要な施策です。特に地域コミュニティ交通の本格運行の可否を判断する際は、利用人数や収支といった経済原理だけではなく、まちづくりに必要な都市の装置だといった観点で判断していただきたい。



質疑の内容は抜粋です。神戸市会のホームページで録画中継や議事録を見ることができます。



# 予算特別委員会 各局審査 [2021年3月1日～10日]

## 1. コロナ禍における市民への食の対策について

[健康局] 3月3日

**Q** コロナ禍において食生活にどのような影響があるのかについて、アンケート調査が1月に実施されました。その結果を受けて、ひとり親世帯に対しどのような施策を考えているのか伺います。

**A** アンケート結果では、ひとり親家庭での食生活の悪化が顕著に見られました。支援団体とも連携し、簡単で時短のレシピや安くて栄養バランスが良いものなどのレシピ動画を作成して発信するとともに、さらなる改善の方策について検討していきたい。

**要望** 子どもたちにとって「食育」を通じて知育・徳育・体育という健康の基礎作りに繋げていくことが重要です。子どもたちや若い世代が家庭環境に関わらず「食」を中心とする健全な生活を送れるようしっかり対応していただきたい。

## 2. 保健師の負担軽減について

[健康局] 3月3日

**Q** 保健師として、コロナ対策以外にも近年増加しているひきこもりや児童虐待、高齢者への虐待など対応が困難な事例が増え、業務が増大・多様化しています。新年度、保健師を増員し体制強化する一方で、個々の保健師の負担軽減を図ることは喫緊の課題と考えています。業務のICT化など、専門性が

発揮しやすい環境づくりを進めていくべきと考えますが見解を伺います。

**A** ICTの活用等進めており、今般の新型コロナウイルス対策について、スマートフォンで健康状態を確認するシステムを導入して対応しています。今後はタブレット端末を保健師全員に持たせるなどさらに効率よく仕事ができるように進めていきたい。

**要望** 新年度当初に採用される保健師には新卒者の方も多く含まれると伺っています。現場はギリギリの人員体制ですが、社会経験が少ない若い保健師のためにOJTを含む育成や研修に十分な時間・期間をかけていただきたい。

## 1. 障害者の就労支援について

[福祉局] 3月4日

**Q** 市内で5か所の「しごとサポート」を設置し、就労相談や職場開拓、定着支援に取り組んでいただいています。制度を利用して就労につながった事例やどのような職種へ就労しているのか伺います。

**A** 昨年度の相談延べ件数は1万6210件、支援実績は就職者数が271人。事務職、清掃軽作業店舗業務、厨房倉庫内作業などに就労されています。今後も働く意欲のある障害者がその希望や特性に応じて働き続けることができるよう支援体制を強化していきたい。

**要望** いかに具体的に就職につながったか、いかに長く勤めることができているかが大切です。障害者の生活が安定し、豊かな生活を送ることができるよう市として積極的に支援していただきたい。

## 2. ICTを活用した生活困窮世帯へのリモート学習支援について

[福祉局] 3月4日

**Q** 経済的な事情による学力格差が懸念される中学生への支援として、リモート学習支援「リモスタ」事業を拡充して実施していただく予定です。学校とも連携しアウトリーチ的に情報発信していただきたい。加えて従前から実施している対面式の学習支援

にも参加を促して支援の充実を図ってほしいと考えますがいかがでしょうか。

**A** 「リモスタ」事業については丁寧な周知をさせて頂き、参加者は200名を超え、出席率も96%となっています。対面式の学習支援事業も市内12か所で実施しており、リモート学習とともに支援を拡充していきたい。

**要望** コロナ禍の影響を受けてその学力格差が広がっていていることが懸念されています。子どもたちには家庭環境に関わりなく学習機会の平等がしっかりと担保されることが大切です。関係部局としっかり連携して取り組んでいただきたい。

# かじ 視点

## ICT教育が拡充されます

令和3年度より市内の公立小・中学校で全ての児童生徒に対して1人1台タブレット端末が貸与され、ICTを活用した授業が始まります。学習環境が変わり、より充実した学びとなることを期待しています。一方で慣れない端末操作に、先生も子どもたちも戸惑う場面も多いのではと察します。試行錯誤、トライアル&エラーを繰り返しながらも有効に機器を活用頂きたいと思います。

一方で、ICTがどのように発展しても、**人と人の触れ合いから学ぶことが大切**だと信じています。**神戸の教育理念は「人は人によって人になる」**この精神を忘れずにいてもらいたいものです。

## 医療に携わる方々への負担軽減について

コロナ禍に見舞われ1年が経過しました。未知なウイルスに立ち向かい、市民の安全安心な暮らしを守っていただいている医療従事者の皆さまには心から感謝申し上げたいと思います。

予算特別委員会においては、**看護師の人材確保や保健師の負担軽減など、医療に携わる方々への負担軽減**を訴えてきました。神戸市の令和3年度予算では、医療機関や医療従事者への支援が多く盛り込まれましたが、いま求められている負担軽減策は、**市民一人ひとりが感染予防策を徹底して行い、感染者を減らしていくこと**ではないでしょうか。また、医療に携わる方々に対する風評被害や心ない言葉が発せられることも少なくないようです。「**お互いさまとおかげさま**」そんな気持ちを大切にコロナ禍に向き合っていきたいものです。



## 令和3年度 新型コロナウイルス感染症へ対応した予算〔抜粋〕

1. 感染拡大防止 112億4,000万円  
新型コロナウイルスワクチン接種 92億円  
検査体制の強化 10億5,100万円
2. 医療提供体制の安定的確保 48億1,600万円  
市民病院での重症・中等症コロナ患者受入れに関する支援



神戸市立医療センター中央市民病院提供



## 新型コロナウイルス ワクチン接種 について

神戸市新型コロナ  
ワクチン接種コールセンター



078-277-3320

受付時間：平日8:30~20:00 土日祝8:30~17:30 受付内容：接種可能な市内医療機関の紹介  
電話での問合せが困難な人は 集団接種の会場・予約方法の案内  
メール：pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp 接種券が届かない・再発行などの問い合わせ

新型コロナウイルス感染症の収束まで、引き続き要望・提言を行いながら取り組みます！  
かじ 幸夫